

いちほら

5月15日

主な内容
生涯学習出前講座『おでかけくん』の利用を... 2
情報公開制度と個人情報保護制度... 3
情報ページ 定額給付金の現金給付を開始 など... 4・5
公民館・コミュニティセンター主催行事... 6
急病診療案内、保健だより... 7
PHOTOセレクション 春の園芸まつり など... 8



まちの先生たちが集まって情報交換

現在登録されている『まちのせんせい』の主な内容

講話	ものづくり
<ul style="list-style-type: none"> 消費者問題 コミュニケーション 子育て支援、保険、家計 戦争体験談 郷土学、歴史 環境学習など 	<ul style="list-style-type: none"> 折り紙 リサイクル工作、パズル 絵手紙 炭焼き 刺しゅう 竹細工など
趣味	スポーツ
<ul style="list-style-type: none"> 書道 茶道 大正琴 合唱 キーボードなど 	<ul style="list-style-type: none"> 卓球 レクリエーション 昔の遊び ダンスなど

あなたの知識と経験をみんなに

生涯学習サポートバンク『まちのせんせい』の利用を

『まちのせんせい』とは、自分の豊富な専門知識や技能、経験などを無償で社会に役立てたいと思う人を市が登録し、指導を希望する人たちに紹介する制度です。現在四十七人と四つの団体が講師として登録しています。今回、講師の登録方法と受講方法を、それぞれ詳しく紹介します。

実施の日時など

実施日時 午前9時から午後5時までの4時間以内
【年末年始(12月29日から1月3日まで)は除く】

実施場所 市内

そのほか 本制度を政治や宗教、営利目的で利用することはできません。

講師として登録したい人は

登録できる人 市内に在

住・在勤・在学する個人か団体で、専門的な知識や技能、経験などを豊富に持ち、事業の趣旨を十分に理解している人(団体)

登録方法

(一)申請 生涯学習課や支所、公民館などにある『生涯学習サポートバンク』『まちのせんせい』登録申請書(市ウェブサイトでからもダウンロード可)に必要事項を書き、窓口か郵送で申

指導を受けたい人は

利用できる人 市内在住・在勤・在学者が三人以上いる団体
(一)申請 生涯学習課や支所、



公民館などにある『生涯学習サポートバンク』『まちのせんせい』利用申請書(市ウェブサイトでからもダウンロード可)に必要事項を書き、受講日の一カ月前までに窓口か郵送、ファクスで申し込む。なお事前に講師と日程や内容の調整などを行いたいときは、生涯学習課へ問い合わせてください。
(二)紹介書送付 受講者に『生涯学習サポートバンク』『まちのせんせい』紹介書を、講師には『生涯学習サポートバンク』『まちのせんせい』を送付します。それぞれの書類には、講師と受講者の連絡先や内容などが記載されています。受講者は、受講日の一週間前までに講師と打ち合わせをしてください。
(三)当日 司会進行や会場の準備は、受講者が行ってください。

登録・申請・問合せ先

Web 生涯学習課
〒290-8501
国分寺台中央一丁目
☎(23)9850、
FAX(23)4422

まちのせんせいを一部紹介



福田進一先生 (折り紙教室)

私は平成10年ごろに、折り紙を始めました。15年に市主催のシルバークレッジで折り紙教室に参加し、翌年から18年まで講師も務めさせていただきました。人に折り紙を折ってあげて、喜ばれると「違うものも折ってあげたいと思います。その思いが、上達する源になっています。」



広告やチラシで折り紙を作ります



前田 紘先生 (コンピューター全般)

高校でコンピューターの授業を約二十年担当していたので、その経験を生かしたいと思い、『まちのせんせい』に登録しました。講義の中で、受講生から「パソコンは難しい」と思っていたけど、私にもできた!という声を聞いたときは、とても嬉しいですね。



ワードやエクセルを主に教えます



丸山正隆先生 (リサイクル工作)

三十年以上、ボーイスカウトで子どもたちを率いてきました。そこで培った竹細工やひもの結び方などの経験を、リサイクル工作に生かしています。子どもたちにとって、どうすればうまく工作できるのかを考えることは大事なことだと思います。私自身も、考えながら作ることに本当に楽しんでいます。



牛乳パックとひもを使ったリサイクル工作などを子どもに教えます

|| しっかり育てよう! 市原の子ども ||

子育て4か条

- (1) 挨拶ができ、礼儀正しい子どもに育てよう
- (2) 心から『ありがとう』と言える子どもに育てよう
- (3) ものの善し悪しがわかる子どもに育てよう
- (4) 相手の気持ちがわかる子どもに育てよう